

授業科目名	陸上競技（フィールド）コーチング論演習	授業形態	講義・演習	授業科目区分	応用科目 (スポーツ総合科学)
担当教員名	瓜田 吉久			補助担当者名	
単位数	2 単位	履修年次	1年次	受け入れ人数	-
授業の概要 及び達成目標	競技コーチングにおいては、コーチング実践の場における多角的・体系的アプローチが必要となる。本授業では、主に陸上競技のフィールド種目を題材にして、試合で結果を出すためのトレーニングやコンディショニングをどのように考えるか、また、体力並びに技術トレーニングの方法論などについて教授する。さらに、コーチング実践の場における様々な取り組みについて具体例をもとに講義し、コーチング体験並びに経験を通して発生した諸問題を論考していく。これらにより、陸上競技フィールド種目のコーチングを多角的・体系的に捉え、高度なコーチングを実践していくための能力が身につくことが期待される。				
成績評価の方法	□ 学期末試験の成績（％） ■ 出席状況（20％） ■ 授業への取り組み状況（40％） ■ レポート等の提出状況（40％） を総合的に評価する。				
成績評価の基準	授業の中で行われた発表や討論、さらには提出されたレポートなどをもとに、陸上競技フィールド種目を体系的に捉え、高度なコーチングを実践するための能力が身に付いているかを総合的に評価する。				
テキスト、教材 参 考 書	【参考書】１）スポーツ・トレーニング理論：村木征人著、ブックハウスエイチディ ２）陸上競技のコーチング：金原勇著、大修館書店 ３）現代スポーツコーチング実践講座 2 陸上競技：大石三四郎・浅田隆夫著、ぎょうせい ４）その他必要に応じて講義毎に配布又は指示する。				
履修条件・ 関連科目		備考(教員メッ セージ含む)	レポート等の提出有り		
オフィス・アワー	瓜田：月曜日 14時～15時 研究棟8階802教員研究室				
授業計画					
回	担当教員名	授業内容		授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)	
1	瓜田 吉久	授業のガイダンス、陸上競技フィールド種目について		授業内容を復習（レポート等の作成）すると共に、次回の課題に対する予習（自分の考えなどをまとめる）をしておく。	
2	〃	試合で結果を出すために一期分け理論とはー		授業内容を復習（レポート等の作成）すると共に、次回の課題に対する予習（自分の考えなどをまとめる）をしておく。	
3	〃	試合で結果を出すためにートレーニング計画の立て方ー		授業内容を復習（レポート等の作成）すると共に、次回の課題に対する予習（自分の考えなどをまとめる）をしておく。	
4	〃	試合で結果を出すためにートレーニングを評価することで分かることー		授業内容を復習（レポート等の作成）すると共に、次回の課題に対する予習（自分の考えなどをまとめる）をしておく。	
5	〃	試合で結果を出すためにー試合に向けてのコンディショニングは如何にあるべきかー		授業内容を復習（レポート等の作成）すると共に、次回の課題に対する予習（自分の考えなどをまとめる）をしておく。	
6	〃	コーチングを知るーフィールド種目における体力トレーニングについてー		授業内容を復習（レポート等の作成）すると共に、次回の課題に対する予習（自分の考えなどをまとめる）をしておく。	
7	〃	コーチングを知るーフィールド種目における体力トレーニングについてー		授業内容を復習（レポート等の作成）すると共に、次回の課題に対する予習（自分の考えなどをまとめる）をしておく。	
8	〃	コーチングを知るーフィールド種目における技術トレーニングについてー		授業内容を復習（レポート等の作成）すると共に、次回の課題に対する予習（自分の考えなどをまとめる）をしておく。	
9	〃	コーチングを知るーフィールド種目における技術トレーニングについてー		授業内容を復習（レポート等の作成）すると共に、次回の課題に対する予習（自分の考えなどをまとめる）をしておく。	
10	〃	コーチングを探るーコーチング実践の場における取り組み事例ー		授業内容を復習（レポート等の作成）すると共に、次回の課題に対する予習（自分の考えなどをまとめる）をしておく。	
11	〃	コーチングを探るーコーチング実践の場における取り組み事例ー		授業内容を復習（レポート等の作成）すると共に、次回の課題に対する予習（自分の考えなどをまとめる）をしておく。	
12	〃	コーチングを探るーコーチング実践の場における取り組み事例ー		授業内容を復習（レポート等の作成）すると共に、次回の課題に対する予習（自分の考えなどをまとめる）をしておく。	
13	〃	コーチングを考えるーコーチング実践の場における諸問題の整理と解決法ー		授業内容を復習（レポート等の作成）すると共に、次回の課題に対する予習（自分の考えなどをまとめる）をしておく。	
14	〃	コーチングを考えるーコーチング実践の場における諸問題の整理と解決法ー		授業内容を復習（レポート等の作成）すると共に、次回の課題に対する予習（自分の考えなどをまとめる）をしておく。	
15	〃	コーチングを考えるーコーチング実践の場における諸問題の整理と解決法ー		授業内容を復習し、コーチングに関する総括レポートを作成する。	